

7 板書計画

板書 1 黒板右柱 学級会コーナー)

第十四回 たっち会議

議題 あいさつをレベルアップさせよう

話し合う日 十一月十七日 (水) 三時間目

提案理由 あいさつはよくなってきたが、まだお客さんや先生方に自分からあいさつができなかつたり、声が小さかったりします。あいさつをもっとよくするためにみんなで何かがんばりたいと思って提案しました。

決まっていること

- ①課題は「明るく大きな声でできない」「自分から進んでできない」
- ②課題を解決するために、みんなで取り組めることを考える。
- ③学級全体でがんばることは多くても二つか三つにする
- ④十一月二十六日の代表委員会で提案する。

話合いのめあて

全校のあいさつの手本になるようにみんなでレベルアップする方法を考えよう。

話し合うこと

- ①学級みんなで特にがんばること。
- ②どのような方法で取り組むか。

板書 2 教室右側面)

【五梅のあいさつの主な課題】

- ①明るく大きな声であいさつできない。
- ②自分から先にあいさつできない。

ふり返りの結果①

ふり返りの結果②

【あいさつするとこんなよいことが (五梅編)】

- 心がスツキリする。
- 知らない人とも仲良くできる。
- 学校が明るくなる。
- 学級目標の「仲良く」に近づく。

話し合いのめあて

全校のあいさつの手本になるようにみんなでレベルアップする方法を考えよう。

話し合うこと

①学級みんなで特になんぼすること

- ・相手の目を見てあいさつする ・相手にしつかり伝わる。
- ・先にあいさつをされたら必ず返す ・礼ぎ。
- ・授業などのあいさつも大きな声でする . . ・ふだんから大きな声を出す。
- ・はずかしいという気持ちをなくす ・大きな声でできないから。
- ・必ずおじぎをする ・はずかしくてもおじぎならできる。

11:20

②どのような方法で取り組むか。

- ・強調週間を作つて取り組む ・みんなでなんぼる気持ちになる。
- ・一日二十人以上に先にあいさつをする ・ふり返りしやすい。
- ・休み時間に全校をまわつてあいさつをする . . ・自分たちも全校もよくなる。
- ・なんぼった人を係活動でしようかいする . . ・なんぼった成果が認められる。
- ・帰りの会でふり返りをする ・次の日の目標がはつきりする。

11:40